

## 行政評価アドバイザー会議を終えて ～行政評価アドバイザーによるコメント～

令和元年9月11日

### 小澤アドバイザー

この2年間関わらせていただきありがとうございました。何も分からない私でしたけれども、事務局の方々の温かいご指導を少しずついただきながら理解できるようになりました。迷惑な問題等、また理解してもらえないような質問でも理解して答えて下さった県の皆様に感謝申し上げます。

県の方々から膨大な資料をご提供いただいて頭が下がる思いでした。分からないこと、知らないことが一杯ありましたけれども、私自身の勉強になりましたし、県の方々、またそれに関わっている外部の方々が一生懸命やって下さっている姿を見て、この方々が山梨を支えて下さっているのだなと思い、本当に頭の下がる思いと感謝で一杯です。本当にいろいろありがとうございました。

### 村上アドバイザー

2年目ということで、昨年に比べれば少しは飲み込めるようになったとは思いますが、そうはいってもやはり10事業、2施設全てを理解するのは本当に大変でした。

今回の評価で、ほとんどの事業で感じたことは、1つの事業や施設でも、自主点検シートの説明だけでは分からないということ。例えば、公園の施設であれば、その建物など施設の取得は他の事業からで、維持・管理だけが評価事業であったり、1つの施設の中でその目的によって複数の事業に区別されていたり、予算の負担割合もそれぞれ出し合っていたり、なかなか本質が見えなくて評価がしにくいと感じました。評価の対象となる事業全てに関連している部局か事業を合算して1つだけ評価する、といった方法があったらまた違う本質も出てくるのかなと思います。

そして、昨年同様アドバイザーとして分からないながらも質問をして、皆さんに回答をいただくことで新たな気づき生まれる、ということは同じように今年も感じました。外部であれ、内部であれ、形を変えて違った目線で自分たちの事業を見直すということは非常に大切だと感じます。いずれにしましても、2年間本当に慣れない評価をさせていただき大変でしたが、その分、勉強させていただきました。2年間本当にありがとうございました。

### 小口アドバイザー

今回も全ての事業に対して、要改善という評価をさせていただきました。第3者から見て、やはり見直して欲しい部分は指摘させていただきましたけれども、私はもうこれで5年目になりますが、段々事業の対象が問題のないものになってきて、指摘が難しくなってきました。そういうところに対しても、一段上を目指すとか、質の向上もしていただきたいということで、

改めて、要改善という評価をさせていただきました。

感想として、3つ感じたことがあります。

1つ目は、毎年やっているうちに、段々要求する資料が増えてきまして、非常にたくさんの資料を皆さん本当に真剣に対応していただき、読み切れないくらいたくさんで困ったんですけども、短時間で事業評価するには、なるべくデータがないと判断できませんので、そうしたことをお願いしている訳ですが、資料を分析したり集めている担当部局の方は、おそらく、こんな見方や分析の仕方もあるんだとか、整理しながら自ら改善することにたぶん気づいているのではないかと思います。それは対象事業だけではなくて、他の事業について見直すことにも使えると思いますので、是非そんな見方とか分析の仕方を参考にさせていただければと思います。

2つ目は、県の皆さんというのは、特に施設などでは直接利用者と接する、あるいは相談に対応するというので、ものすごく情報が入ってきています。ただ、その情報がなかなか生かされていないなという印象をいつも感じます。利用者に対するアンケートという様なものも満足度だけで終わってしまっていて、肝心の、何で知って何のために来たのか、あるいは使った結果どうなったか、といったことが必要ですけれどそういったものが把握されていない。それから、利用者や相談者のニーズも変化していると思いますが、この辺を集めて生かしていくということがなかなかできていないのかなと思います。こういった情報は非常に貴重なものですので、何回も評価の際にも申し上げましたが、担当部局だけではなくて関係者で共有していろいろな施策に展開していただきたいと思います。

3つ目ですが、5年間やってやはり一番大変だなと思うのが施設です。正直言って、こんなに多くのお金がかかっているのかなという印象です。最初の何億円、十億円という投資もそうですけれども、その後の維持管理、指定管理料も含めて、古いものは大規模修繕がどんどん出てくる、ものすごい負担額だなということを感じました。続けなければいけないものは当然続けるんですけども、今まで以上に本当に必要な経費なのかとか、全部修繕する必要があるかということと、やはり利用者を増やして収益を上げていくということを併せて考えていかないと、県はどんどん大変になっていくのではないかと思います。そういう意味で指定管理者の選定については、もちろん管理・運営をするということも大切ですが、収益を上げるためにどうするかという感覚をできれば重視していただきたい。どうしても維持管理をやる業者がやらなければならないということはありますが、そうした場合はどこか経営的なことが分かるところとジョイントを組むというようなことをして、少し県の負担を少なくする、しかも利用者を増やしていく、という経営的な感覚で運営していただくことがこれから大切ではないかと思います。

以上3点私から申し上げましたけれども、お二人にはありがとうございました。事務局の皆様には細かいところまで丁寧に対応していただき、おかげさまで何とか無事に終了することができました。本当に長い間ありがとうございました。以上です。